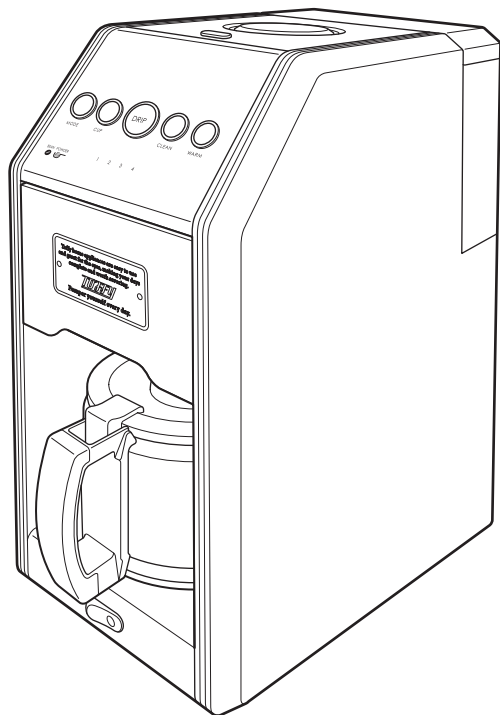




全自動ミル付4カップコーヒーマーカー

品番：K-CM4

家庭用



もくじ

安全上のご注意	2
各部の名称	5
使用前の準備	7
つかいかた(豆・粉の準備)	9
つかいかた(抽出)	12
お手入れのしかた	15
エラー表示の見かた	17
故障かな?と思ったら	18
製品仕様	19
保証書	20

ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
でございます。

本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しく
お使いください。

本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意 必ずお読みください

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

⚠警告 この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意 この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

⊘ ⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ ❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠警告

⊘ 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさないでください。

ショート・感電・火災の原因となります。

⊘ ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

⊘ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、はさみ込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

⊘ 電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・火災の原因となります。電源コードや電源プラグが破損した場合は、当社お客様ご相談窓口(P.19参照)にご連絡いただき、修理交換してください。

⊘ 分解・修理・改造はしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。

⊘ 本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れないでください。

異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

⊘ 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しないでください。

感電・けが・やけどの原因となります。

⊘ ガラスポットを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したり、硬いものにぶつけたり、急激に冷やしたり、他の機器で使用しないでください。

割れて、火災・けがの原因となります。

⊘ カーテンなどの可燃物の近くで使用しないでください。

火災の原因となります。

⊘ 異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用をしないでください。

火災・感電の原因となります。

⊘ 使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れないでください。

高温のため、やけどの原因となります。

⊘ 本製品は室内専用です。室外では使用しないでください。

火災・故障の原因となります。

⊘ 水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わないでください。

ショート・感電・故障の原因となります。

⊘ 使用直後の熱い保温プレートの上にガラスポット以外のものをのせないでください。

火災・けがの原因となります。

警告

⊘ 水タンクが空のまま、保温操作以外はしないでください。

火災・故障の原因となります。

⊘ 専用のガラスポット以外は使用しないでください。

発火・故障・やけどの原因となります。

⊘ 蒸気口に手や顔を近づけないでください。

けが・やけどの原因となります。



交流100V・定格15Aのコンセントを単独で使用してください。

他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。



電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

感電・ショート・発火の原因となります。



電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取ってください。

ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

注意

⊘ 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。

火災・故障の原因となります。

⊘ 不安定な場所や熱・水気・振動に弱いところで使用しないでください。

けがや火災の原因となります。

⊘ 直射日光が長時間あたる場所で使用しないでください。

故障・変形の原因となります。

⊘ 破損や変形があるときは絶対に使用しないでください。

感電・けが・故障の原因となります。

⊘ 壁や家具の近くで使用しないでください。

熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。

⊘ 使用後、電源コードを本体に巻き付けないでください。

コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⊘ 電源コードを束ねたまま使用しないでください。

熱を持ち、故障・火災の原因となります。



お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。

傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。



決められた容量より多いコーヒー豆(32g)・コーヒー粉(40g)・水(620ml)を入れないでください。

湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。



水タンクに水以外のものを入れないでください。

故障の原因となります。



挽き目調節ダイヤルを豆タンクに取り付けられない状態で、直接コーヒー豆を入れないでください。また、コーヒー豆以外のコーヒー粉などは絶対に入れないでください。

湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。



ドリップケースにコーヒー粉以外のものを入れないでください。

故障の原因となります。

⚠注意

⊘ 本体以外の水洗いできる部分は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。

変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが40℃以上のお湯でお手入れすることはやめてください。

⊘ 落とす、ぶつけるなど本体に強い衝撃を与えないでください。

故障・破損・けが・感電の原因となります。

⊘ 使用中は本体を移動させないでください。

故障・やけど・けがの原因となります。

⊘ ガラスポットをのせたまま、本体を動かさないでください。

破損・やけど・けがの原因となります。

⊘ 使用中は本体にふきんなどをかぶせないでください。

火災・やけどの原因となります。

⊘ 熱源・火気の近くで使用しないでください。

火災・変形・故障の原因となります。

⊘ コーヒー抽出中や抽出直後に水タンクふたや豆タンクふたやドリップケースを開けないでください。

蒸気が吹き出てやけどの原因となります。

⊘ 豆挽き部の刃に触れないでください。

けがの原因となります。

⊘ 「挽き目調節ダイヤル」、「ドリップケース」、「ドリップケースふた」、「メッシュフィルター」、「水タンク」、「水タンクふた」、「ガラスポット」なしで使用しないでください。

けが・やけど・水漏れ・故障の原因となります。

⊘ 豆と粉は絶対同時に入れないでください。

湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。

⚠ 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災・故障の原因となります。

⚠ 電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜いてください。

故障・感電やショートの原因となります。

⚠ 持ち運びや豆挽き部の内部煮沸洗浄以外のお手入れ、保管をするときは、電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

火災ややけどの原因となります。

⚠ 使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。

使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。

⚠ 連続抽出の際は5分間休ませてから入れてください。

本体が熱いうちに水タンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が吹き出て故障・やけどの原因となります。

⚠ ガラスポットのコーヒーが1杯未満の場合は保温しないでください。

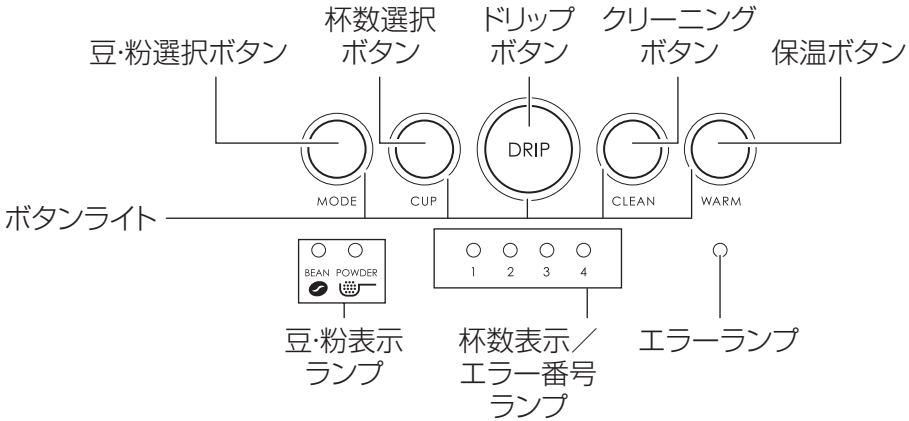
コーヒーが蒸発して空だきとなりガラスポットの割れ、故障の原因となります。

⚠ ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。

本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因となります。

各部の名称

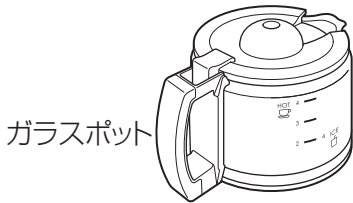
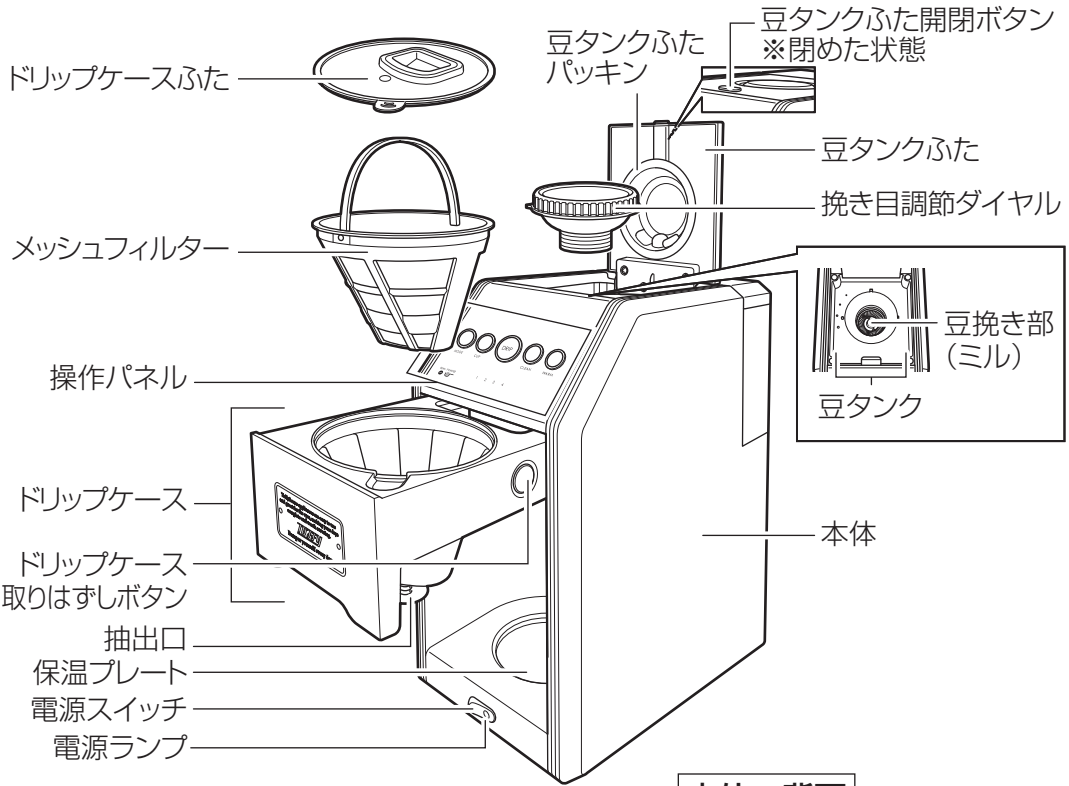
操作パネル



豆・粉選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 豆から挽いてコーヒーを淹れる場合はBEANを選択します。BEANランプが点灯します。 粉からコーヒーを淹れる場合はPOWDERを選択します。POWDERランプが点灯します。
杯数選択ボタン	1杯から4杯までの抽出を選択します。選んだ杯数表示ランプが点灯します。
ドリップボタン	抽出(ボタンライト点灯)／一時停止(ボタンライト点滅)します。一時停止中、10秒以内に再度ボタンを押すと、抽出を再開します。長押しすると、ボタンライトが消灯し、強制停止になります。
クリーニングボタン	豆挽き部の内部煮沸洗浄を入／切します。ボタンを押すと、ボタンライトが点灯し、豆挽き部の内部洗浄を開始します。再度押すとボタンライトが消灯し、洗浄を中止します。
保温ボタン	コーヒー抽出完了後、ボタンライトが点灯し、保温モードに切り替わります。押すとボタンライトが消灯し、保温モードを解除します。 ※保温は保温開始から約30分後に自動OFFし、待機モードに切り替わります。再度押すと、約30分間保温します。
杯数表示／エラー番号ランプ	豆・粉表示ランプが点灯しているときは杯数を表示します。エラーランプが点灯しているときはエラー番号を表示します。(エラー表示の詳細は17ページ「エラー表示の見かた」を参照)

※待機モード：電源ランプは点灯していますが、操作パネルは全て消灯している状態のことです。

各部の名称



付属品

計量スプーン
(すり切り1杯
約8g)



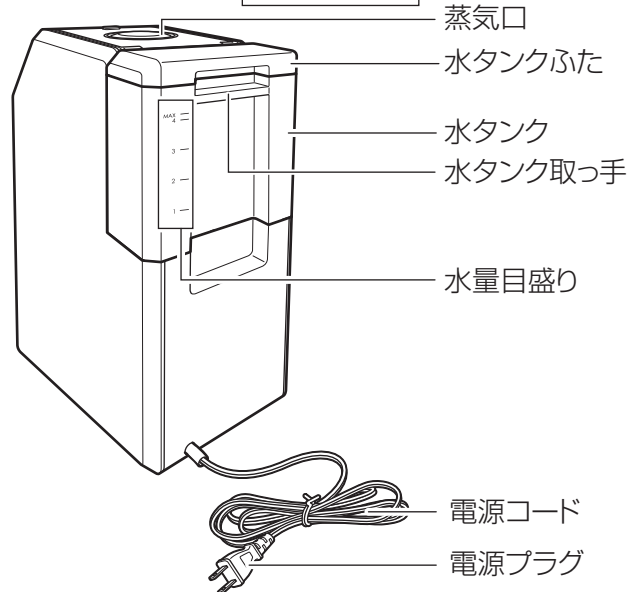
清掃用ハケ



清掃用ブラシ



本体 背面



使用前の準備

初めて使うとき

初めて使用するとき、または長い間使用していないときは、次のように洗浄してください。

1. 右図の各パーツをすべて水洗いして乾燥させてください。

- ・水タンクは持ち上げることにより、取りはずすことができます。
- ・挽き目調節ダイヤルは、反時計回りに回して取りはずすことができます。
- ・ドリップケースは右横にある取りはずしボタンを押すことにより、取りはずすことができます。

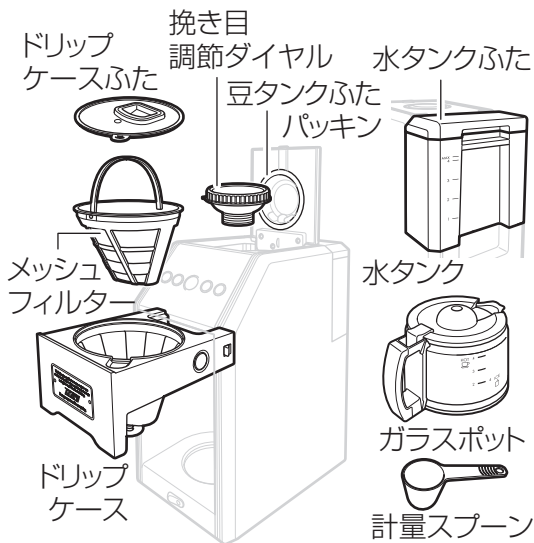
※ガラスポットを取り出してから行ってください。

△警告 本体は絶対に水につけたり、水をかけたりしないでください。
ショート・感電・火災の原因となります。

2. 本体を安定した台などの上に設置してください。

水平で安定した、熱に強い場所に設置してください。

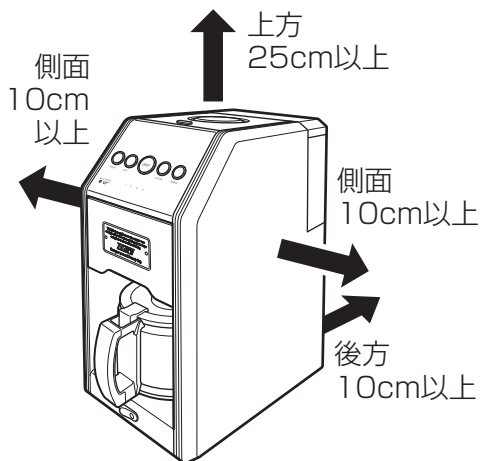
傾いた状態では転倒防止機能が働いて電源が入りません。



壁や周囲から適当な距離を保って設置してください。

本製品は熱や蒸気を発生するため、設置環境には十分注意してください。

- ・近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。



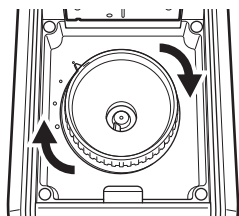
使用前の準備

3. 乾燥した各パーツ(計量スプーン以外)を本体に取り付けてください。

正しく取り付けられていないと動作しない
または動作中水漏れする恐れがあります。

- ・豆タンクふたに豆タンクふたパッキンを正しく取り付けてください。
- ・水タンクは水タンクふたを取り付け、きちんと本体に押し込んで取り付けてください。
- ・挽き目調節ダイヤルを取り付けたあと、豆タンクふたをしっかり閉めてください。

挽き目調節ダイヤルはカチッとするまで時計回りに回転させて取り付けてください。

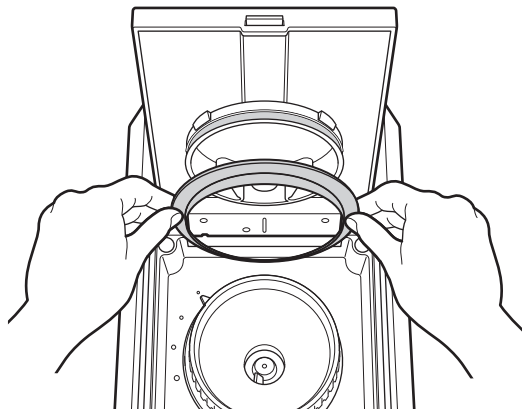


- ・メッシュフィルターとドリップケースふたをドリップケースに取り付け、ドリップケースは本体の奥までしっかり入れてください。
- ・ガラスポットを本体保温プレート上に置いてください。

本体内部煮沸洗浄

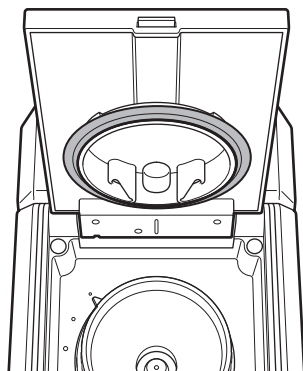
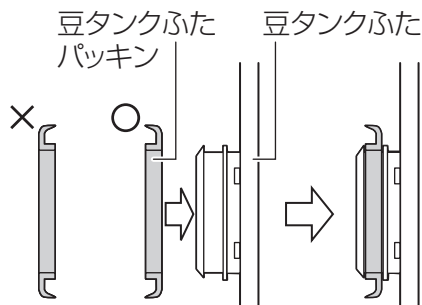
正しく設置したあと、内部煮沸洗浄を2度行ってください(本体内部煮沸洗浄方法は15ページ「お手入れのしかた」を参照)。

パッキンの取り付けかた



豆タンクふたパッキンの凹側を手前に、凸側をふた側に向けて両手で持ち、豆タンクふたの溝に沿わせて取り付けてください。

《断面図》



つかいかた(豆・粉の準備)

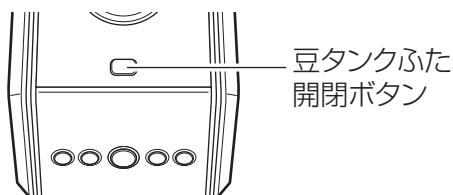
コーヒー豆使用の場合

コーヒー豆を選ぶときのご注意

コーヒー豆は煎りかたにより、豆を挽いたあとの粉の細かさや油分の量が変わります。本製品におすすめのコーヒー豆は、豆の硬さと油分が適度な「中煎り豆」です。苦みが強いコーヒー豆（一般に「深煎り豆」と分類されます）は、豆の硬さがもろく、豆を挽くと粉が細かくなりやすいため、ドリップ後のコーヒーに細かい粉が混ざったり、また、油分の多いコーヒーに仕上がることがあります。

- ・「深煎り豆」は油分等が原因で、豆挽き部に豆が詰まる恐れがあります。
- ・「浅煎り豆」は硬さが原因で、豆挽き部のモーターが止まる恐れがあります。

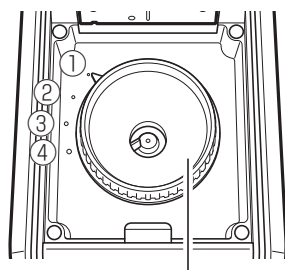
1. 本体上部にある豆タンクふた開閉ボタンを押し、豆タンクふたを開けてください。



2. 挽き目調節ダイヤルを回して挽き目を設定してください。

豆タンクの左にある、4段階の目盛り（右図①～④）でお好みの挽き目を設定することができます。

- ① 細かい
- ② ↓
- ③
- ④ 粗い



挽き目調節ダイヤル

3. 挽き目調節ダイヤルに、抽出する杯数分のコーヒー豆を入れてください。

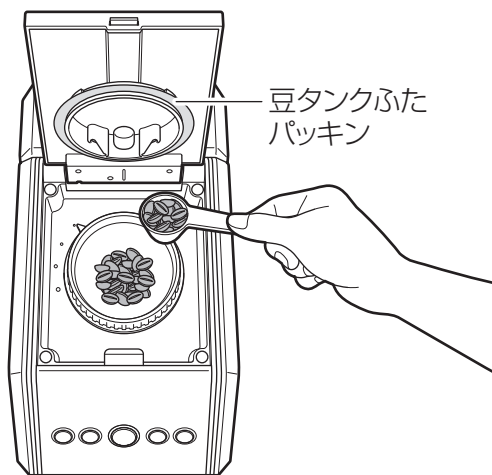
■ コーヒー豆、水の量の目安
(室温24度、水温17度の場合)

杯数	コーヒー豆の量	水の量	できあがり量
1杯	約12g	約150ml	約130ml
2杯	約18g	約300ml	約260ml
3杯	約24g	約445ml	約390ml
4杯	約32g	約590ml	約520ml

計量スプーンすり切り1杯＝約8gです。

※コーヒー豆の量はお好みにより調節してください。

※室温、水温、コーヒー豆により、所要時間とコーヒーのできあがり量は多少異なります。



つかいかた (豆・粉の準備)

△注意

- ・ コーヒー豆は、最大容量(32g)より多く入れないでください。多く入れすぎると、コーヒー豆が挽ききれず、故障の原因となります。
- ・ コーヒー豆以外を挽き目調節ダイヤルに入れないでください。
湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。
- ・ 挽き目調節ダイヤルなしでコーヒー豆を直接に豆タンクに入れないでください。
コーヒー豆が飛び散り、挽ききれず、故障の原因となります。
- ・ 湿ったコーヒー豆を使用しないでください。
故障の原因となります。

4. 挽き目調節ダイヤルからコーヒー豆があふれていないか確認の上、豆タンクふたを閉じてください。

カチッと音がするまで確実に豆タンクふたを閉じてください。

△注意

豆タンクふたパッキンの付け忘れにご注意ください。(8ページ「パッキンの取り付けかた」を参照)

5. ドリップケースを引き出し、メッシュフィルター、ドリップケースふたが正しく取り付けられていることを確認し、ドリップケースをしっかり奥まで押し戻してください。

つかいかた (豆・粉の準備)

コーヒー粉使用の場合

コーヒー粉を選ぶときのご注意

- ・ コーヒー粉は、「中挽粉」を使用してください。
- ・ 「細挽粉」は使用しないでください。
メッシュフィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれたり、コーヒー粉が混入することがあります。

1. ドリップケースを引き出し、ドリップケースふたをはずし、メッシュフィルターが取り付けられていることを確認してください。

2. メッシュフィルターに、抽出する杯数分のコーヒー粉を入れてください。

■ コーヒー粉、水の量の目安
(室温24度、水温17度の場合)

杯数	コーヒー粉の量	水の量	できあがり量
1杯	約12g	約150ml	約130ml
2杯	約18g	約300ml	約260ml
3杯	約24g	約445ml	約390ml
4杯	約32g	約590ml	約520ml

計量スプーンすり切り1杯=約8gです。

※ コーヒー粉の量はお好みにより調節してください。

※ 室温、水温、コーヒー粉により、所要時間とコーヒーのできあがり量は多少異なります。

- ・ コーヒー粉は、最大容量(40g)より多く入れないでください。

コーヒーがあふれて、やけどの原因となります。

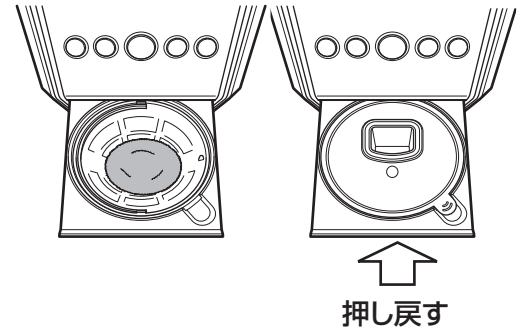
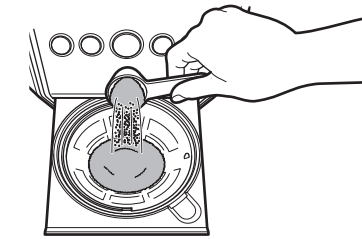
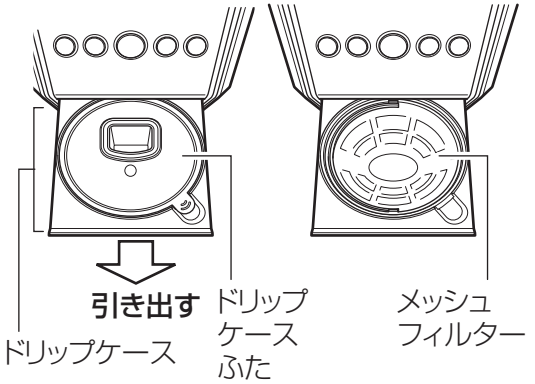
- ・ コーヒー粉以外をメッシュフィルターに入れないでください。

故障の原因となります。

- ・ コーヒー粉は豆タンクに絶対に入れないでください。

湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。

△ 注意



3. ドリップケースふたをして、ドリップケースを本体に押し戻してください。

ドリップケースが奥までしっかり取り付けられていることを確認してください。

つかいかた (抽出)

警告 使用中、抽出中、蒸気口・保温プレート・抽出口には触れないように注意してください。やけどの原因となります。

注意 「挽き目調節ダイヤル」、「ドリップケース」、「ドリップケースふた」、「メッシュフィルター」、「水タンク」、「水タンクふた」、「ガラスポット」なしで使用しないでください。けが・やけど・水漏れ・故障の原因となります。

ミル・ドリップする

1. 水タンクを取りはずし、蛇口から直接水を入れてください。

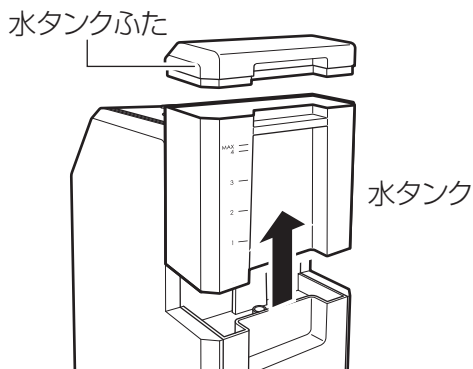
水タンクを取りはずさずにお手持ちの計量カップなどで水タンクに水を入れることもできます。

警告

- 使用直後は水タンクに水を入れしないでください。
- 絶対に豆タンクふたを開けたまま水タンクに水を入れしないでください。蒸気や熱湯が噴出して、やけどの原因となります。

注意

- 最大容量(620ml)より多くの水は入れしないでください。ガラスポットからコーヒーがあふれる原因となります。
- 最低目盛(150ml)以上の水を入れてください。空だきすると、故障の原因となります。



2. ガラスポットを保温プレートの上のせてください。

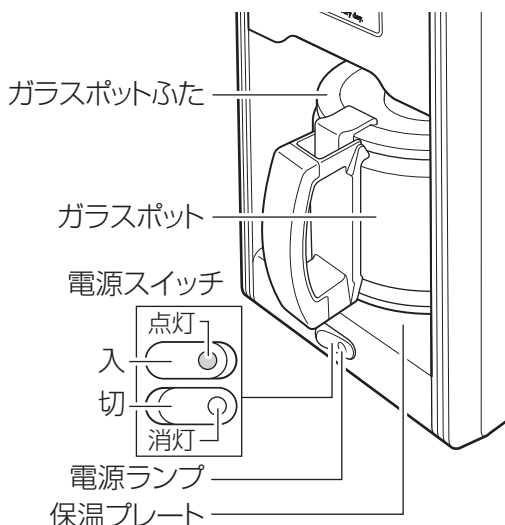
差し込みが不十分だと、コーヒーがドリップケースからあふれることがあります。

3. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチの左側を押してください。

右側の電源ランプが点灯します。「ピー」とブザーが鳴ったあと、操作パネルが一度点灯し、「MODE」ボタンライトは点滅、「CUP」ボタンのボタンライトは点灯します。

注意

- ぬれた手で電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。束ねたまま使用すると、重なった部分が熱を持ち、火災の原因となります。



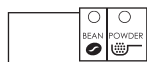
つかいかた (抽出)

4. [MODE] 豆・粉選択ボタンを押し、豆(BEAN)または粉(POWDER)を選択してください。

押すたびに豆 (BEAN) と粉 (POWDER) が切り換わります。

コーヒー豆から淹れる場合はBEANを選択し、コーヒー粉から淹れる場合はPOWDERを選択してください。

豆・粉選択ボタン



豆・粉表示ランプ

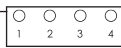


5. [CUP] 杯数選択ボタンを押し、抽出する杯数を1～4の間で選択してください。

杯数選択ボタン



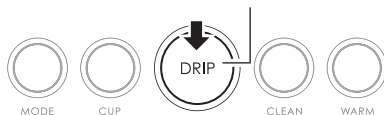
杯数表示ランプ



6. [DRIP] ドリップボタンを押してください。

以下の順で動作します。

ドリップボタン



※コーヒー豆を挽いているとき、大きな音がしますが、異常ではありません。

※抽出後、豆挽き部の水を切るため、豆挽き部は一度回転しますが、異常ではありません。

つかいかた (抽出)

水タンク、豆タンクふた、ドリップケースを正しく取り付けないと、エラーになり、動作しません。その場合は、正しく取り付け、手順4(13ページ)から再度設定してください。(エラー表示の詳細は17ページ「エラー表示の見かた」を参照)

抽出の途中でコーヒーがこぼれたり、あふれたりしたら、[DRIP]ドリップボタンを長押し→強制停止してください。(本体が冷めてからお手入れし、使用してください)

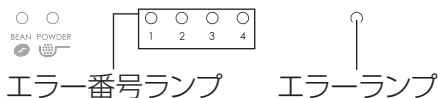
7. 抽出(ドリップ)が終了すると、ブザーが鳴り、保温ボタンライトが点灯して保温モードに切り替わります。コーヒーが抽出し終わったことを確認してからガラスポットをゆっくり抜き、カップに注いでください。

保温は保温開始から約30分後に自動OFFし、待機モードに切り替わります。再度[WARM]保温ボタンを押すと、約30分間保温します。ただし、長時間保温するとコーヒーの風味が損なわれます。抽出後はなるべく30分以内にお飲みください。

※保温を中止する場合→[WARM]保温ボタンを押し、保温をOFFにします。待機モードに切り替わります。

連続使用する場合のご注意

- 抽出後、5分以上たってから再度で使用ください。
- 抽出毎にメッシュフィルターにあるコーヒーの挽カスを捨て、豆または粉を新しいものに入れ替えてください。(9~11ページ「つかいかた(豆・粉の準備)」を参照。)
- 水タンクの水量を確認してください。本製品は選択した杯数分だけ抽出できるため、抽出後も水タンクに水が残る場合があります。水の残量をご確認いただき、選択する杯数に応じて水を追加し、ご使用ください。



△警告 抽出中・抽出直後、蒸気が発生するため、本体上部・蒸気口周辺に手や顔を近づけないでください。やけどの原因となります。



△注意

- 残ったコーヒーを保温プレート上に長時間放置しないでください。コーヒーが蒸発して煮詰まっていき、空っぽになると、火災・故障の原因となります。
- ガラスポット1杯分以上のコーヒーを入れた状態で保温してください。コーヒーが蒸発して空っぽとなりガラスポットの割れ、故障の原因となります。

- 待機モードになっている場合には、[MODE]豆・粉選択ボタン、[CUP]杯数選択ボタン、[DRIP]ドリップボタンのいずれかのボタンを押すと再操作できます。
※待機モード:電源ランプは点灯していますが、操作パネルは全て消灯している状態のことです。
- 抽出手順に従って、再度ご使用ください。(13ページ「つかいかた(抽出)」手順4以降を参照。)

8. 使用を終了するとき、電源スイッチの右側を押し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

△注意 電源プラグをコンセントに差し込んだままにしないでください。差し込んだままにしておくと、火災の原因となります。

お手入れのしかた

安全にお使いいただくために、ご使用毎にお手入れしてください。

- ・ **お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- ・ **必ず十分に本体の温度が下がってからお手入れをしてください。**
やけどの原因となります。

- △ **注意** ・ **本製品のお手入れに研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。**
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- ・ **お手入れをする際に、本体には直接水をかけないでください。**
故障・やけど・火災の原因となります。

ご使用毎のお手入れ

- ・ メッシュフィルターにあるコーヒーの挽カスを捨て、水洗いしてください。
- ・ ガラスポットを水洗いしてください。
- ・ ドリップケースの下にある抽出口の水滴やコーヒー粉をキッチンペーパーなどでふき取ってください。

一日使用後のお手入れ

一日の使用後(1日に5回以上使用する場合は5回毎に)、内部煮沸洗浄後、本体・各パーツの洗浄を行ってください。

■ 内部煮沸洗浄方法

1. **水タンクに2杯分の水を入れ、水タンクふたをしてください(2度行う場合は4杯分の水を入れてください)。**

水タンクを取りはずし、蛇口から直接水を入れてください。または水タンクを取りはずさずにお手持ちの計量カップなどで水タンクに水を入れてください。

- △ **注意** ・ **最大容量(620ml)より多くの水を入れしないでください。**
・ **本体に水がかからないようにしてください。**

2. **ガラスポットを保温プレートの上のせてください。**

差し込みが不十分だと、お湯がドリップケースからあふれることがあります。

3. **電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチの左側を押してください。**

右側の電源ランプが点灯します。

「ピー」とブザーが鳴ったあと、操作パネルが一度点灯し、「MODE」ボタンライトは点滅、「CUP」ボタンのボタンライトは点灯します。

- △ **注意** ・ **ぬれた手で電源プラグを触らないでください。**
感電の原因となります。
- △ **注意** ・ **電源コードを束ねたまま使用しないでください。**
束ねたまま使用すると、重なった部分が熱を持ち、火災の原因となります。

お手入れのしかた

4. [CLEAN] クリーニングボタンを押し、内部煮沸洗浄を開始してください。

[CLEAN] クリーニングボタンを押すとボタンライトが点灯し、内部煮沸洗浄が始まります。

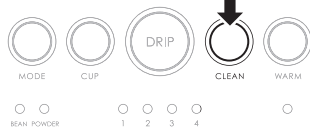
内部煮沸洗浄後、「ピー」とブザーが鳴り、ボタンライトが消灯したら終了です。

ガラスポット内のお湯を捨ててください。

※途中で内部煮沸洗浄を終了させるときは再度「CLEAN」クリーニングボタンを押してください。

※再度内部煮沸洗浄を行うときは、ガラスポットのお湯を捨て、同様に洗浄を行ってください。

クリーニングボタン



△注意

「挽き目調節ダイヤル」、「ドリップケース」、「ドリップケースふた」、「メッシュフィルター」、「水タンク」、「水タンクふた」、「ガラスポット」なしで使用しないでください。けが・やけど・水漏れ・故障の原因となります。

5. 電源スイッチの右側を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ガラスポット内のお湯と水タンクに残っている水を捨ててください。

■ 本体と各パーツの洗浄方法

・右図の各パーツはすべて取りはずし、水ですすぎ洗いしてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を水またはぬるま湯で薄め、柔らかいスポンジを使用して軽く洗い、水ですすぎ洗いをしてください。その後、乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させてください。

・本体と豆タンク内のネジ山の汚れはよくしぼったふきんなどで、きれいにふき取ってください。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

・ドリップケースの下にある抽出口を2~3回押し上げながら汚れを洗い流してください。

・付属の清掃用ハケ・清掃用ブラシを使って、豆タンクまわりを掃除してください。

洗えるパーツ



△注意

食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください

変形の原因となります。

お手入れのしかた

定期洗浄（カルキ等の除去）

半年に1回程度、定期的に行ってください。

使っているうちに、水に含まれるカルキ成分等が内部に付着します。故障の原因となるため、定期的に洗浄してください。

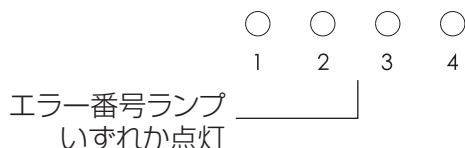
1. 水タンクの2杯分の位置まで水を入れ、空のガラススポットを保温プレートの上ののせてください。
2. 食酢大さじ1杯を水タンクに加え、水タンクふたを閉めてください。

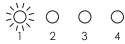



3. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れ、[CLEAN]クリーニングボタンを押してください。
4. クリーニングが終わったら、電源を切り、ガラススポットのお湯を捨ててください。
5. 5分以上たってから、内部煮沸洗浄方法（15、16ページ「内部煮沸洗浄方法」を参照）に従って2度内部を洗浄してください。

エラー表示の見かた

エラー表示

本体に異常があった場合、ブザーが鳴り、エラーランプが点灯し、エラー番号ランプでエラー状況を伝えます。適切な対応をしてください。



エラー番号表示	原因	対処方法
 エラー番号 1	水タンク・豆タンクふた・ドリッパーケースが正しく取り付けられていません。	正しく取り付け、13ページ「つかいかた(抽出)」の手順4から再度設定してください。
 エラー番号 2	豆(BEAN)を選択しましたが、豆が入っていません。	挽き目調節ダイヤルに抽出する杯数分のコーヒー豆を入れ(9ページの表を参照)13ページ「つかいかた(抽出)」の手順4から再度設定してください。
 エラー番号 3	豆が詰まっています。	①本体の電源を切ってください。②挽き目調節ダイヤルにあるコーヒー豆を取り出し、挽き目調節ダイヤルを取りはずし、水ですすぎ洗いでください。③豆挽き部にあるコーヒー豆を全て取り出してください。④内部煮沸洗浄を行ってから再使用してください。
 エラー番号 4	本体が過熱しています。	①本体の電源を切ってください。②約5分間休ませてから、水タンクに最低目盛以上の水が入っていることを確認してください。③13ページ「つかいかた(抽出)」の手順4から再度設定してください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか?	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
コーヒー豆が挽けない	湿ったコーヒー豆を使用していませんか?	湿ったコーヒー豆は使用しないでください。
	挽き目調節ダイヤルがぬれていませんか?	乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させてください。
	挽き目調節ダイヤルが正しく豆タンクに取り付けられていますか?	正しく取り付けてください。(8、9ページ)
ドリップ中に豆タンクふたから蒸気や水が吹き出る	豆が豆挽き部に詰まっていますか?	17ページの「エラー番号3」を参照してください。
	湿ったコーヒー豆を使用していませんか?	湿ったコーヒー豆は使用しないでください。
	コーヒー豆以外を挽き目調節ダイヤルに入れていませんか?	コーヒー豆以外を入れないでください。
コーヒーがガラスポットに落ちてこない	抽出口にコーヒーの粉が詰まっていますか?	抽出口をお手入れしてください。(15、16ページ)
	ガラスポットのふたをして正しく保温プレート上に乗せていますか?	ガラスポットを保温プレートに正しくのせないと、抽出口が開かずコーヒーが落ちてきません。ガラスポットは、保温プレートの奥まで差し込んでください。
	適切なコーヒー粉を使用していますか?	コーヒー粉は「中挽粉」を使用してください。
	コーヒー豆・コーヒー粉を入れ過ぎていませんか?	適切な量を入れてください。(9、11ページ)
ドリップが開始されない	水タンクに水が入っていますか?	水タンクに水を入れてください。
ガラスポットからコーヒーがあふれる	水タンクにMAX以上の水を入れていませんか?	最大容量(620ml)以下の水を入れてください。
	ガラスポットに既に抽出済のコーヒーや内部煮沸洗浄後のお湯が残っていませんか?	ガラスポットを空にして、保温プレート上に乗せてください。
抽出に時間がかかる	コーヒー豆・コーヒー粉を入れ過ぎていませんか?	適切な量を入れてください。(9、11ページ)
	メッシュフィルターが目詰まりしていませんか?	メッシュフィルターをお手入れしてください。(15ページ)
	本体内部にカルキ等が付着していませんか?	定期的にカルキ等の除去をしてください。(17ページ)
コーヒーの味が異常に薄い、濃い	選択した杯数とコーヒー豆／粉の量はあっていますか?	選択する杯数に応じた正しい量の豆／粉を入れてください。(9、11ページ)

長期間ご使用の全自動ミル付4カップコーヒーマーカーは定期的な点検をお願いします

- ・電源コードが異常に熱い。
- ・電源コードに深い傷などがある。
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・そのほか異常や故障がある。



このような症状が出たり発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy 全自動ミル付4カップコーヒーマーカー
品番	K-CM4
本体寸法	約160(W)×335(H)×285(D)mm
本体重量	約3.6kg
水タンク容量	620ml
コーヒーミル最大容量	32g
ミル方式	セラミック臼式
抽出方式	ドリップ式
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	900W
電源コード長	1.4m
生産国	中国

付属品	計量スプーン、清掃用ハケ、清掃用ブラシ、ユーザーズガイド(保証書含む)、カンタン操作ガイド
-----	-----------------------------------------------

※商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。アフターサービスも対応できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

